

R3-20

関係機関と連携した「生命（いのち）の安全教育」の実施

- 管内 根室管内
- 分類 SNSに起因する犯罪 性犯罪・性暴力への対策
 その他（ ）
- 教育課程 教科（ ）科 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 1 自分の周囲の人間関係について、俯瞰して考える場面を設定することにより、相手を尊重し、よりよい人間関係を形成するために必要な態度について考えさせる。
- 2 ロールプレイングを体験することにより、高校生同士の学校生活における何気ない会話の中においても、言葉の暴力と受け取られかねない要素が含まれていることに気付かせ、その解決策や改善方法等について考えさせる。

■取組の実際

ねらい

- 専門家の支援によって、デートDVの防止や他者とのコミュニケーションの方法について学ぶとともに、自己肯定力及び自己管理能力を身に付けさせる。
- 生徒が生命を大切にするとともに、性被害や性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないための「生命（いのち）の安全教育」を推進し、自分や相手、一人一人を尊重する態度を身に付けさせる。

内容

1 講話「よりよい人間関係（友人関係）とは何か」

統計データやクイズ、動画を取り入れたDV等について講演を実施した。

講演では率直な感想を交流する場面を設定する等よりよい人間関係について生徒が主体的に考えることができるように工夫した。



【講演の様子】

2 ロールプレイング「人を傷つける言動や態度とは何か」

代表生徒がロールプレイングを実施し、一見「普通」のやりとりに見える会話の中にも、「言葉遣い」や「状況」によっては相手に暴力的な印象を与えることについて理解が深まる場面を設定した。



【ロールプレイングの様子】

【生徒の感想（一部）】

- ・これまでの自分を振り返り、友達同士だから普通だと思っていた会話の中にも、もしかしたら相手を傷つけてしまうような言葉があったのかもしれないと反省し、これから気を付けていこうと思った。
- ・彼氏彼女の関係でも、沢山の人がDV被害に遭っていることが分かって驚いた。お互いに注意し合える信頼関係や対等な関係が大事だと思った。

成果と課題

- 他者との関わり方を振り返り、自分は良いと思っても相手や周囲がどう思うのか意識するなど、相手や一人一人を尊重する態度を身に付けさせることができた。
- 男女交際に揉め事やトラブルは生じるのが当然であると思いつく生徒や、プライベートなことを相談しにくいと考え悩みを抱え込んでしまう生徒が一定程度いることから、本取組により高まった意識を定着させるための指導が必要である。